

2025年度まちづくりネットモニター第4回調査結果 テーマ「子どもの読書について」

子どもたちにとって、読書活動は心豊かで健やかな成長を育むため重要なものですが、近年、子どもたちの生活環境の変化などから、「読書離れ」の傾向が現れるようになりました。

この現状を受け、国においては、子どもの読書活動を推進するため、平成13（2001）年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行し、これに基づき「子どもの読書活動に関する基本的な計画」を策定し、令和5（2023）年4月から第五次計画を進めています。

郡山市においても、子どもたちが読書習慣を身につけることができるよう、現在、「第五次郡山市子ども読書活動推進計画」の策定を予定しており、市民の皆様のご意見を把握し、反映するため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。（中央図書館）

※この調査において、「子ども」とは、おおむね18歳以下の者を指し、「本」とは、教科書・漫画・雑誌等を除いた紙の書籍のことを指します。

【調査結果】

○ 調査期間	2025年6月20日(金)～6月29日(日) (10日間)
○ モニター数	427名 (男性 185名 女性 241名 不明 1名)
○ 回答者数	385名 (男性 163名 女性 221名 不明 1名)
○ 回答率	90.2%

【分析】

《回答者内訳》

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
男性	3	4	12	29	38	36	27	14	163
女性	7	7	31	63	61	41	10	1	221
不明		1							1
合計	10	12	43	92	99	77	37	15	385

《第1章 読書活動の状況について》

- ・42.9%が最近1年以内に図書館から本を「借りた」と回答（問1）
- ・自分の子どもに本を読んであげたことが「たくさんあった」人は43.3%、「少しはあった」人は34.5%（問9）

《第2章 郡山市図書館の読書活動推進事業について》

- ・おはなし会について「知っている」人が66.8%であるが、参加したことが「ある」人は29.6%（問12・13）

《第3章 電子書籍の利用について》

- ・電子書籍で読書をしたことが「ある」人は45.7%（問15）
- ・「ない」と回答した人のうち、今後使ってみたいと思う人は37.3%（問17）

《第4章 子どもの読書活動への支援について》

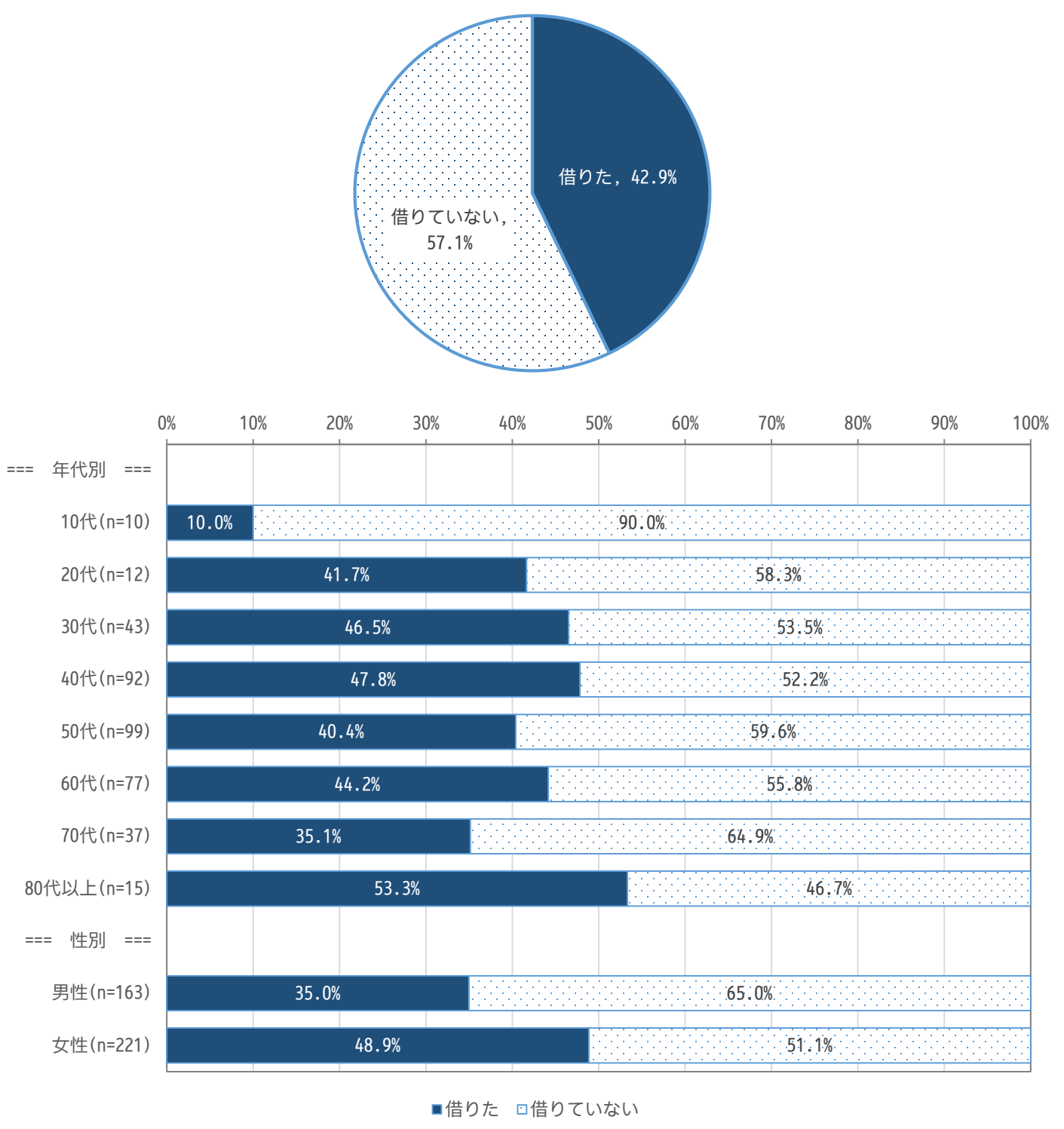
- ・子どもの読書活動推進のために郡山市図書館ですべきことについて、「幼稚園・保育所・学校との連携による読書環境の整備」が64.7%と最も多く、「おはなし会等の子ども向け行事（イベント）の開催」が51.4%と次に多かった（問20）。

【考察】

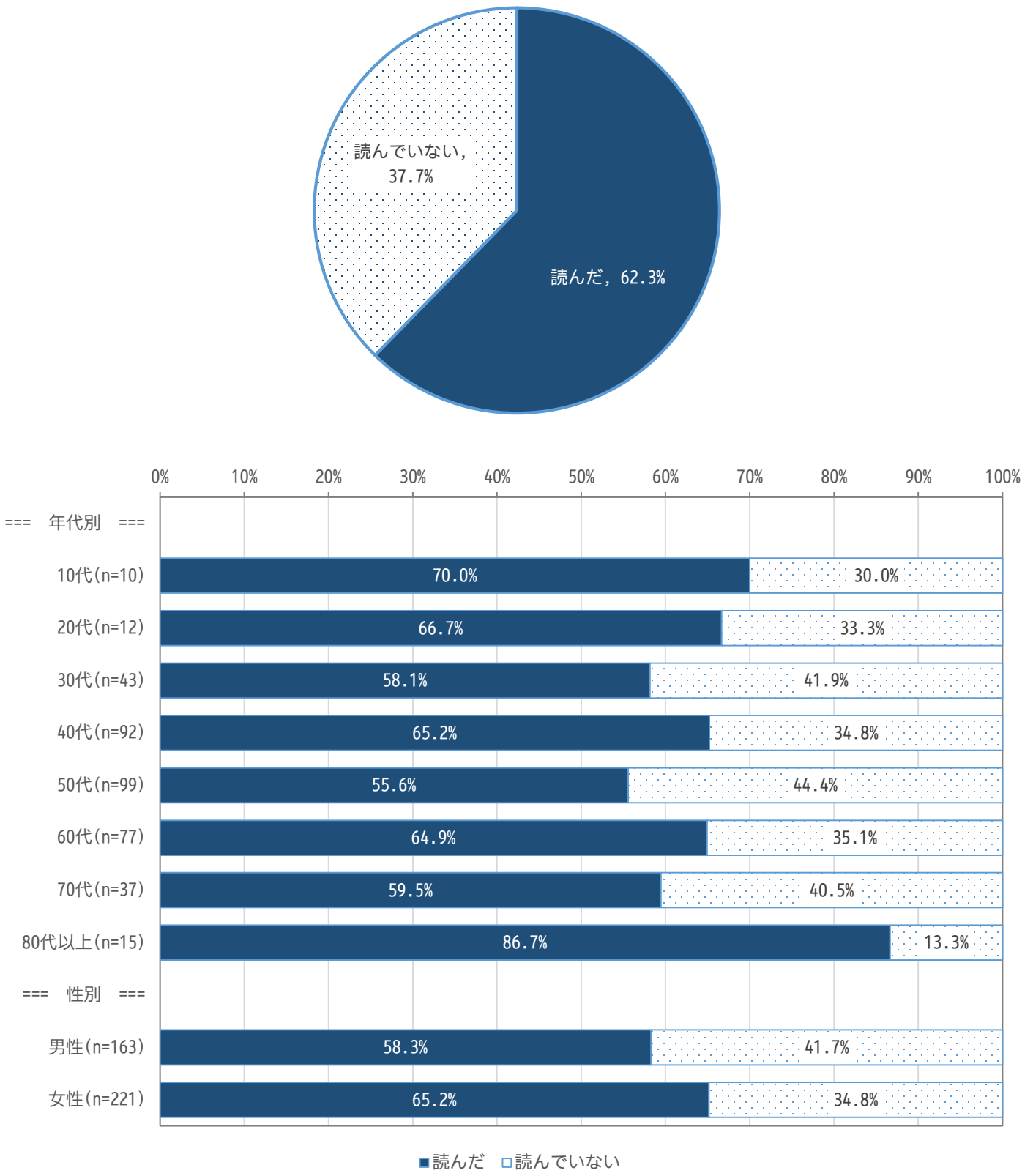
- ・読み聞かせについては、自分の子どもに対して積極的に行っている。
- ・おはなし会についての周知度は高いが、参加率が低いことから、開催日時・場所等を工夫する必要がある。
- ・電子書籍については、利用したことがない人のうち、今後利用したいと思うと回答した割合が低いことから、電子書籍の利点を発信する必要がある。
- ・各家庭での読書環境を充実させるために、幼稚園・保育所・学校との連携による読書環境の整備や図書館の様々な役割に対するニーズが高まっている。
- ・図書館のイベントや本の紹介について、積極的にPRをしていくことが求められる。

第1章 読書活動の状況について

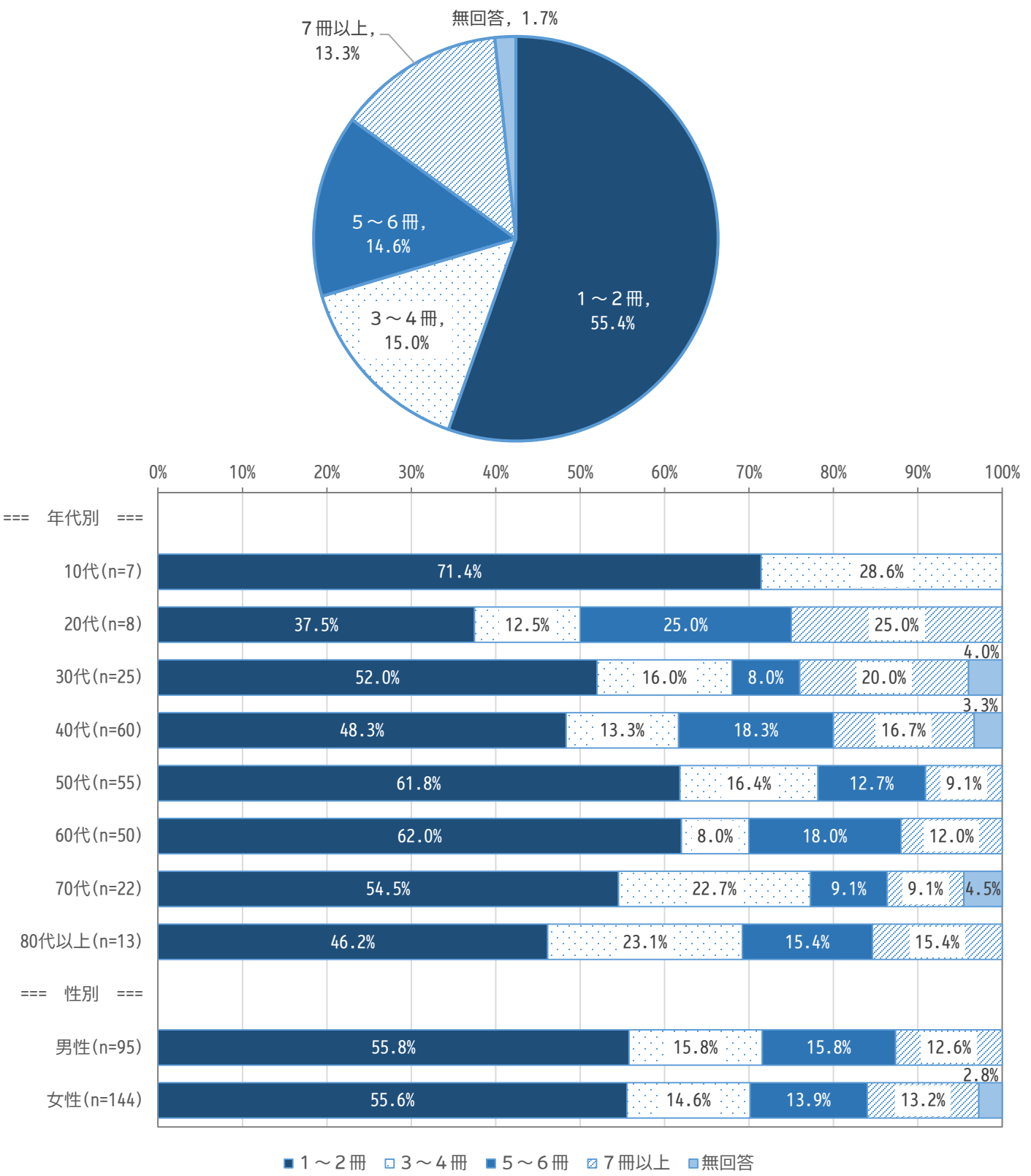
問1 あなたは、最近1年以内に図書館から本を借りましたか？（1つ選択） (回答者：385人)



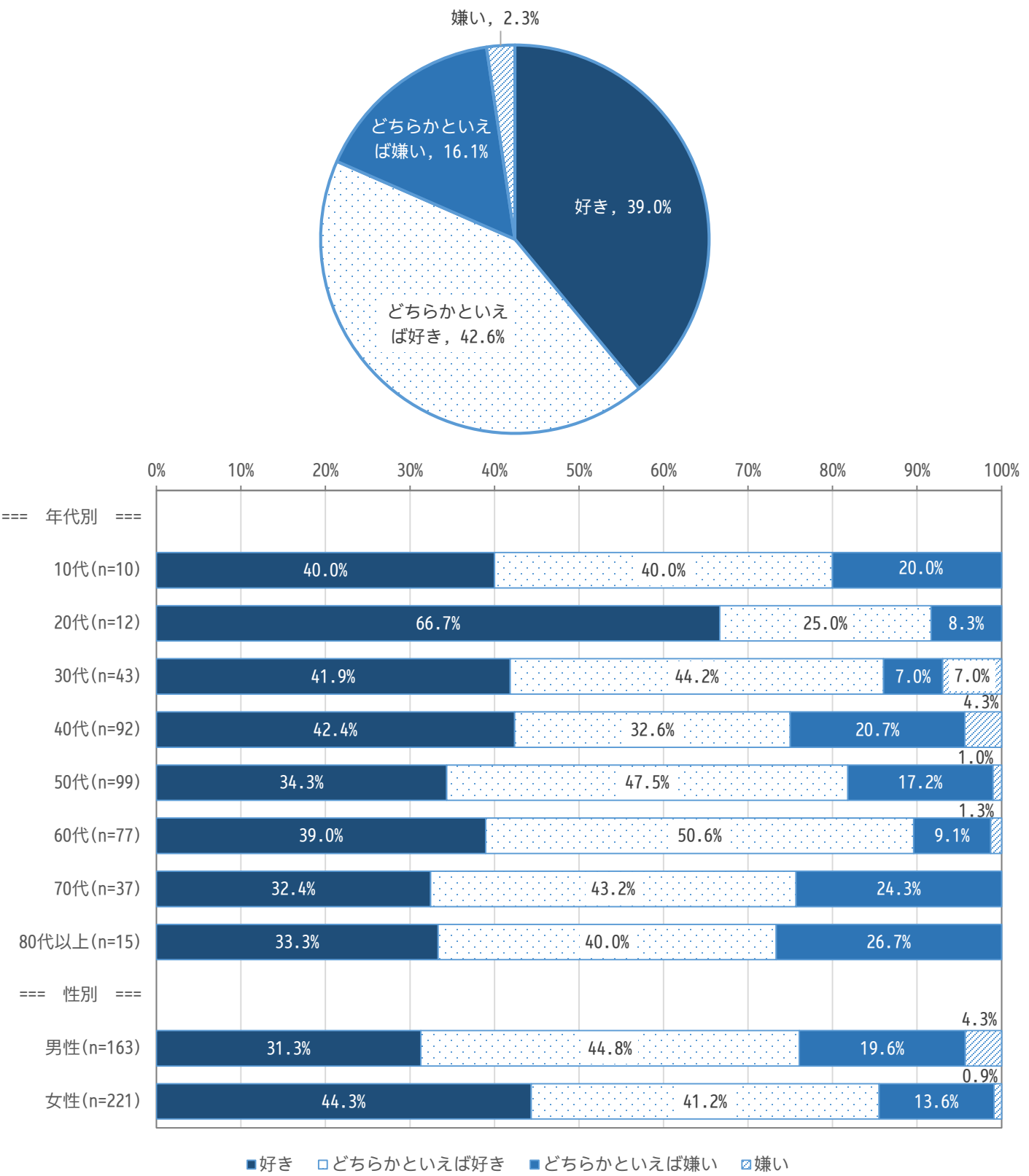
- ①図書館の利用状況について、全体の42.9%の人が図書館から本を「借りました」と回答し、本に触れる場所として図書館が一定の役割を果たしていると考えられる。
- ②年代別では、80代以上（53.3%）が最も高く、次いで40代（47.8%）、30代（46.5%）であり、80代以上の高齢者と30代、40代の子育て世代の利用率が高い。
- ③性別では、本を「借りました」人の割合は、女性が男性より13.9ポイント高い。



- ①全ての年代で5割以上の方が1ヶ月以内に本を「読んだ」と回答。
- ②年代別では、80代以上で本を読んだ方の割合が86.7%と最も高い。
- ③性別では、本を「読んだ」割合は、女性が男性より6.9ポイント高い。



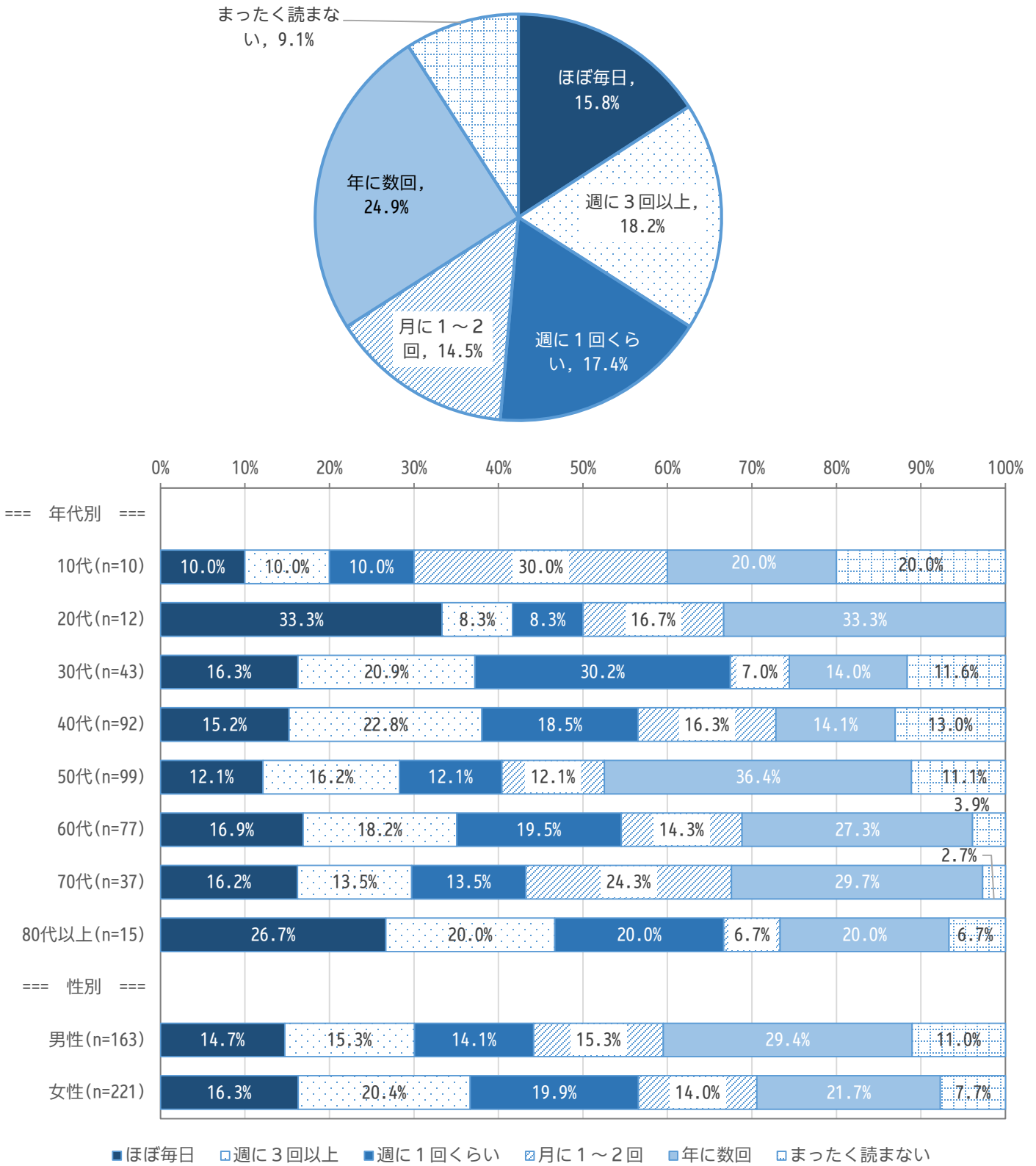
- ①本を読んだ人のうち、5割ほどの方が1ヶ月平均で1～2冊の本を読んでいる。
- ②年代別では、10代、50代、60代の方が1～2冊読んでいる割合が6割以上であった。
- ③問3の回答者全体の平均冊数は4.4冊であった。
- ④性別でみると、男女で大きな差は見られない。



- ① 8割を超える方が、「好き」「どちらかといえば好き」と回答し、いずれの年代、性別でも読書への好意的な印象が多いと思われる。
- ② 年代別では、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合は、20代（91.7%）と60代（89.6%）が特に高い。
- ③ 性別では、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合は、女性が男性より9.4ポイント高い。

問5 あなたは、家でどのくらいの頻度で本を読んでいますか？
(絵本を見ることや読み聞かせを含む。)(1つ選択)

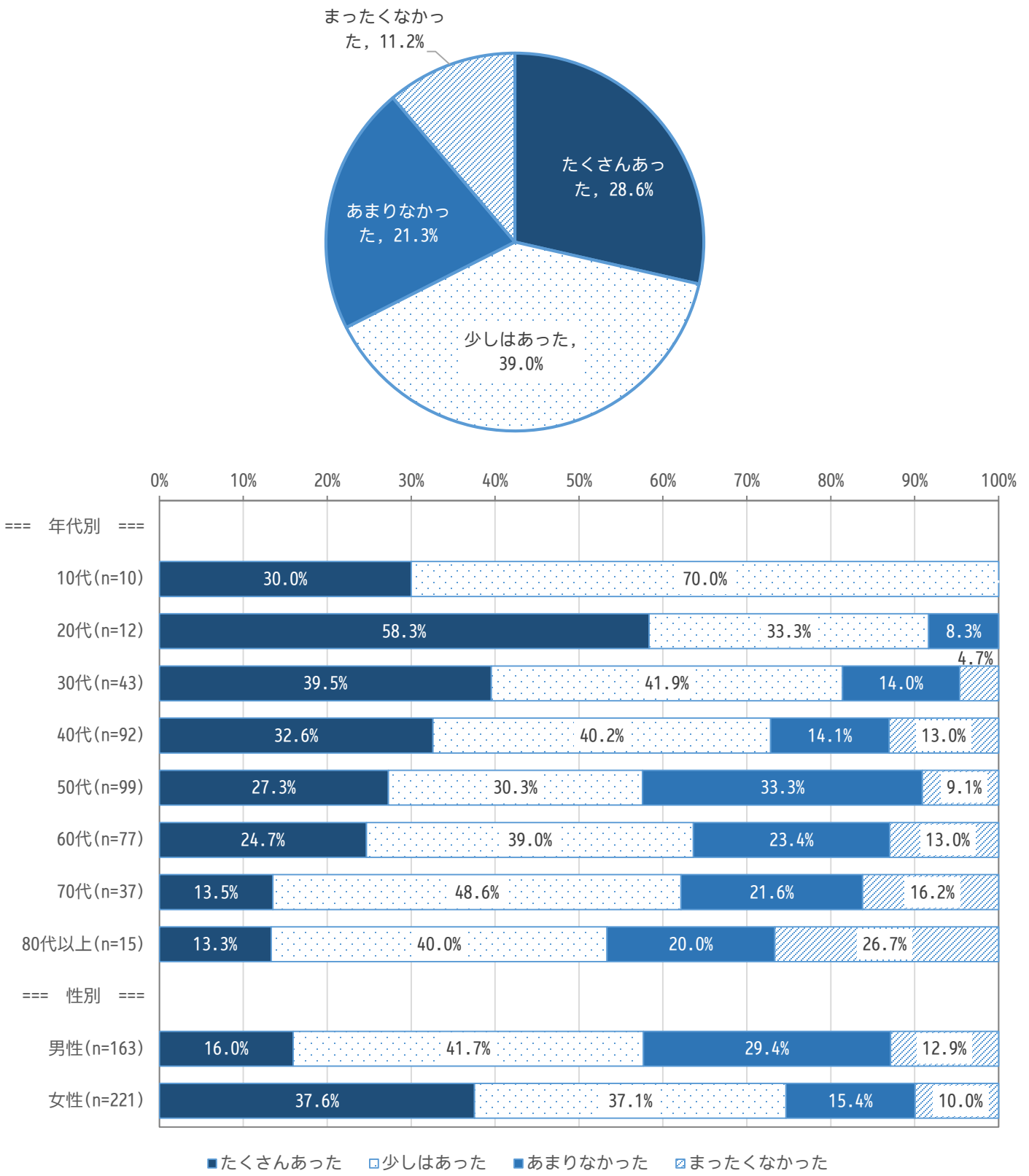
(回答者：385人)



- ①半数以上の方が、週に1回以上本を読んでいる。
- ②年代別では、週に1回以上読んでいる割合は、30代及び80代以上が6割以上と高い一方、10代のみ3割と他と比べて特に低かった。
- ③性別では、週に1回以上本を読んでいる割合は、女性が男性より12.5ポイント高い。

問 6 あなたは、子どものとき、家族から本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことはありますか？（絵本を含む。）（1つ選択）

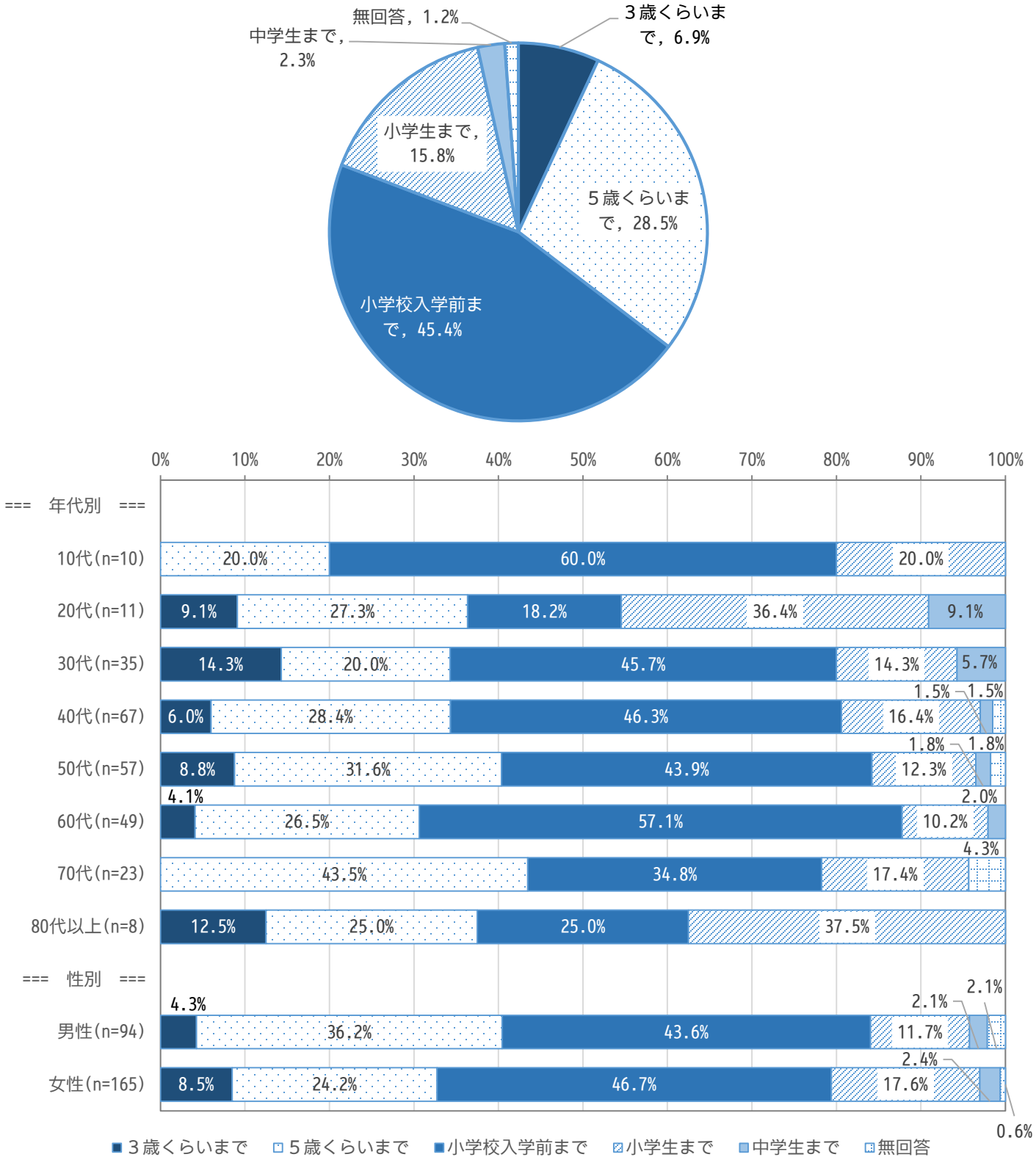
(回答者：385人)



- ①67.6%の人が「たくさんあった」「少しはあった」と回答。
- ②年代別では、若い年代ほど、家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いた割合が高く、昔と比べて本を読み聞かせる習慣が浸透していることが伺える。
- ③性別では、「たくさんあった」「少しはあった」と答えた割合は、女性が男性より17ポイント高い。

問7
問6で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
子どものとき、家族から本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたのは、
ご自分が何歳くらいまでですか？（1つ選択）

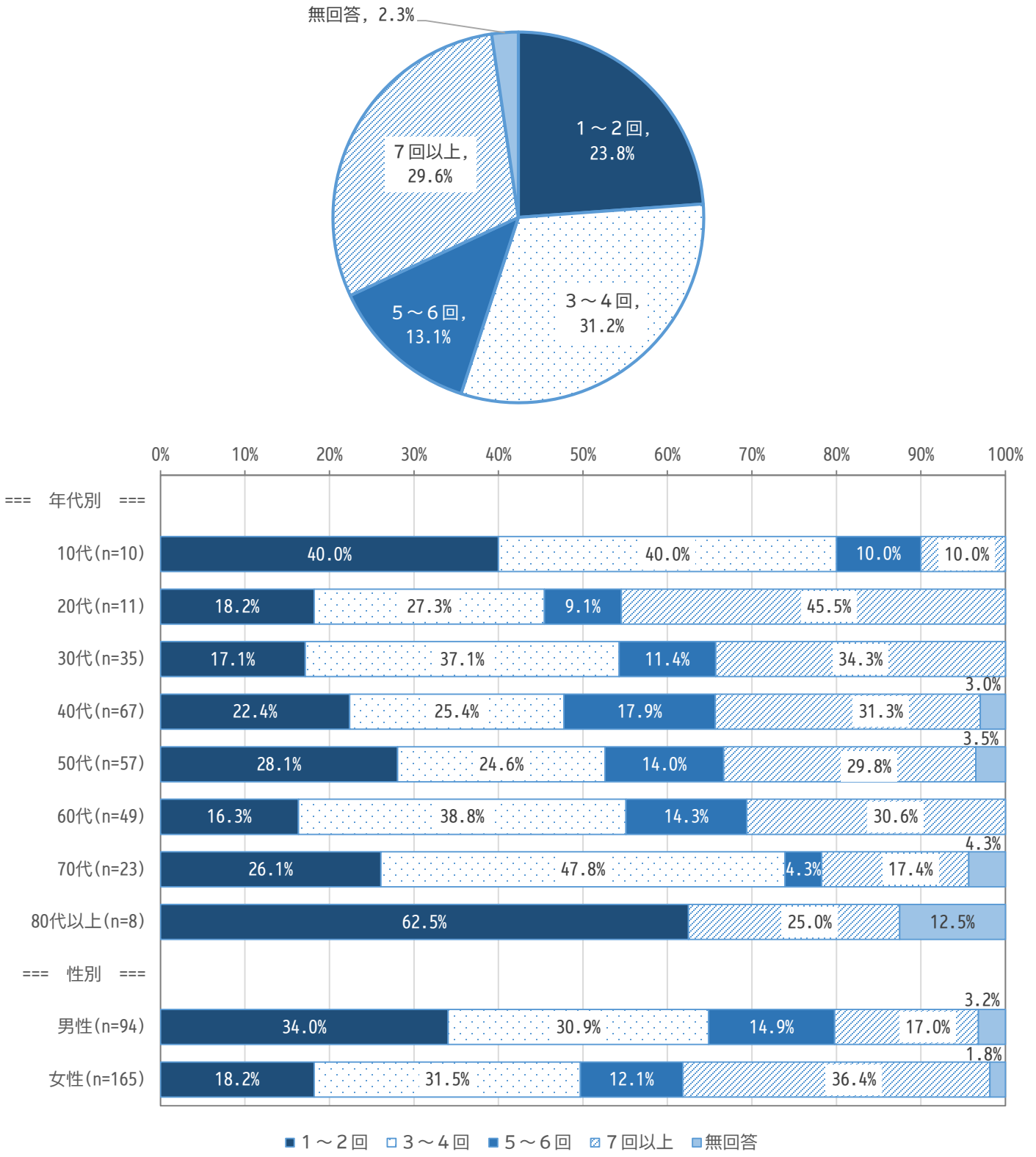
（回答者：260人）



「小学校入学前まで」読んでもらった人が45.4%と最も多く、「5歳くらいまで」読んでもらった人が28.5%と次に多かった。

問 8 問 6 で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
子どものとき、家族から本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたのは、
月に何回くらいですか？（1つ選択）

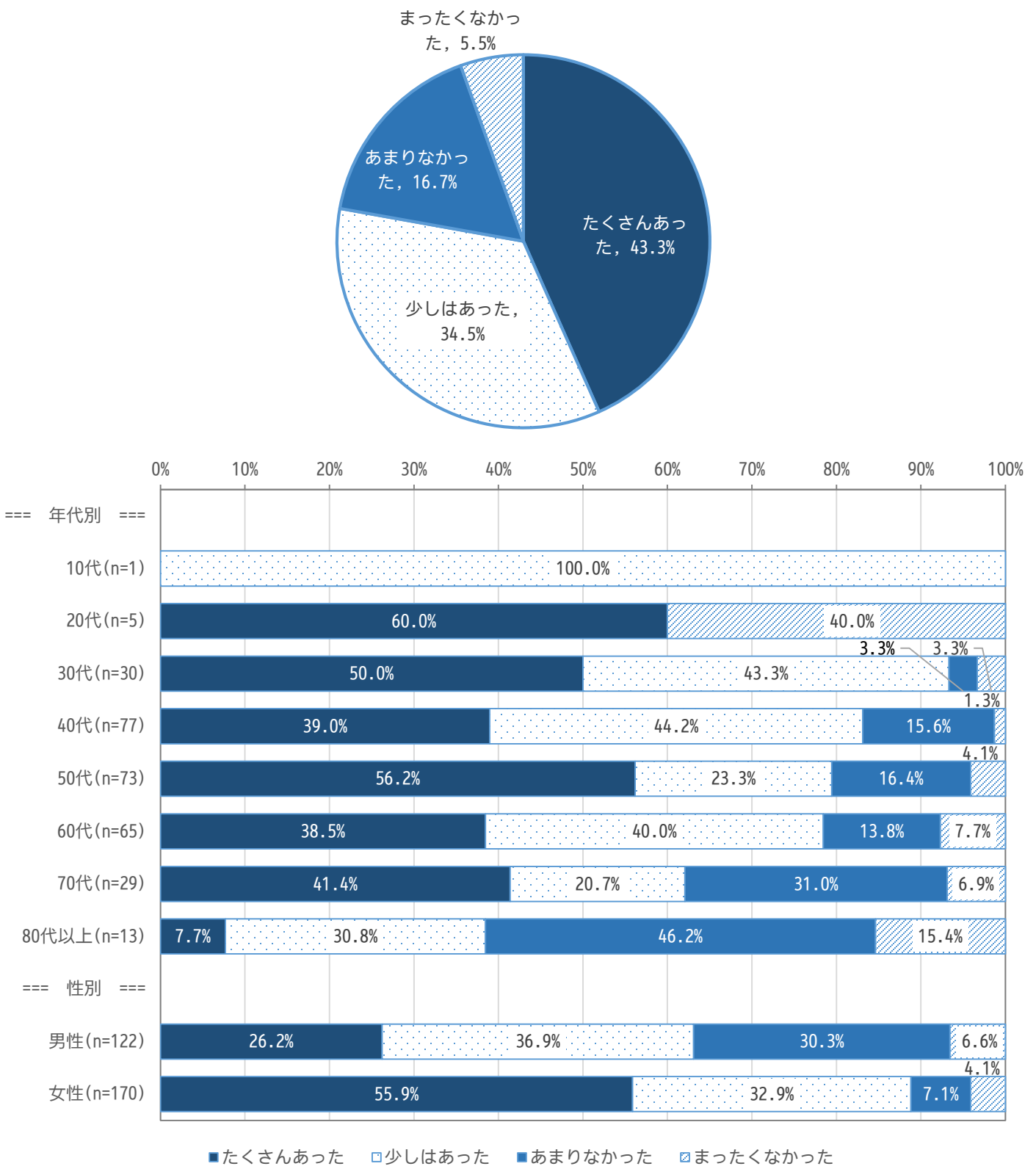
(回答者：260人)



- ①月に「3～4回」読んでもらった人が31.2%と最も多く、「7回以上」読んでもらった人が29.6%と次に多かった。
- ②「7回以上」と答えた人の割合が一番多い年代は20代（45.5%）であり、次いで30代（34.3%）、40代（31.3%）が多かった。
- ③性別では、「7回以上」と答えた割合は、女性が男性より19.4ポイント高い。

問9 お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、お子さんに本を読んであげたり、昔話をしたことがありますか？（1つ選択）
（お子さんがいらっしゃらない方は問12へ）

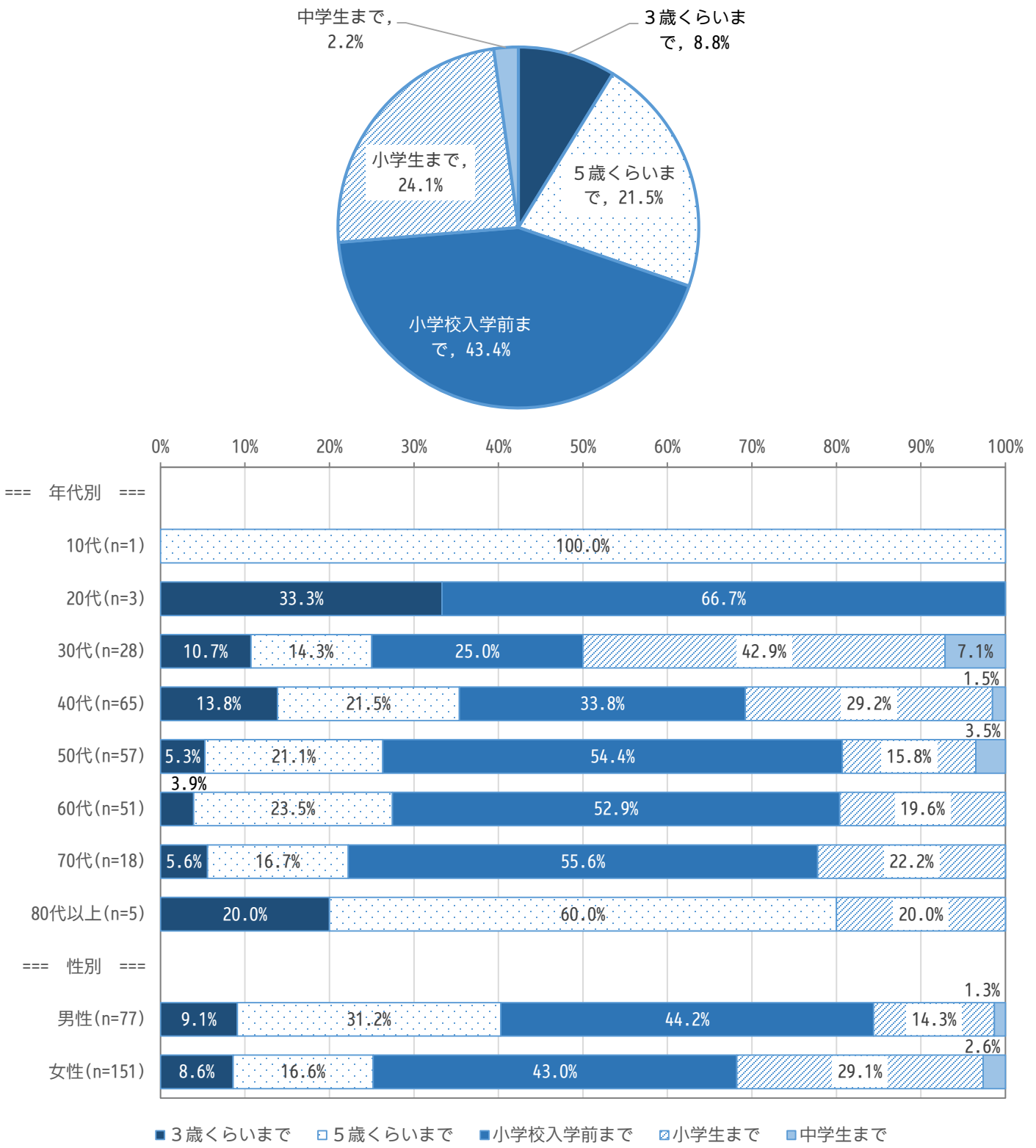
（回答者：293人）



- ①「たくさんあった」「少しはあった」と回答した人は77.8%だった。
- ②性別では、「たくさんあった」「少しはあった」と答えた割合は、女性が88.8%であり、女性の方が男性より25.7ポイント高い。
- ③問6では、28.6%の人が自分が子どものときにたくさん本を読んでもらったが、問9では43.3%の人が自分の子どもにたくさん本を読んであげたと回答。

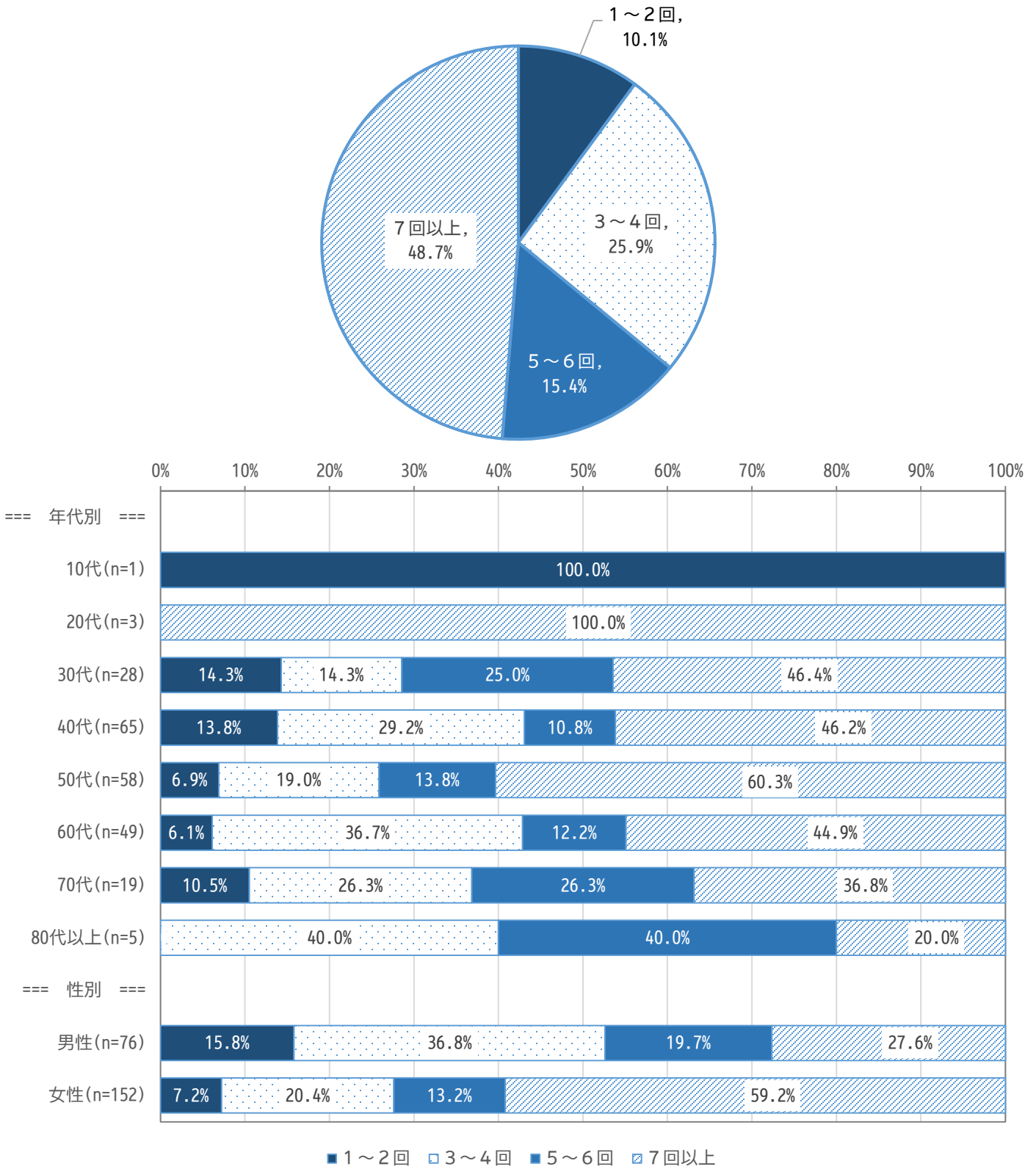
問10 問9で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
本を読んであげたり、昔話をしたのは、お子さんが何歳くらいまでですか？
現在子育て中の方は、何歳くらいまでお子さんに本を読んであげたり、
昔話をしたいと思いますか？（1つ選択）

(回答者：228人)



- ①「小学校入学前まで」と答えた人が43.4%と最も多かった。
- ②性別では、女性が男性よりも、お子さんの年齢がより高い時期まで本を読んであげたり、昔話をしていた（現在子育て中の方はしたいと思っている）割合が高い傾向にある。

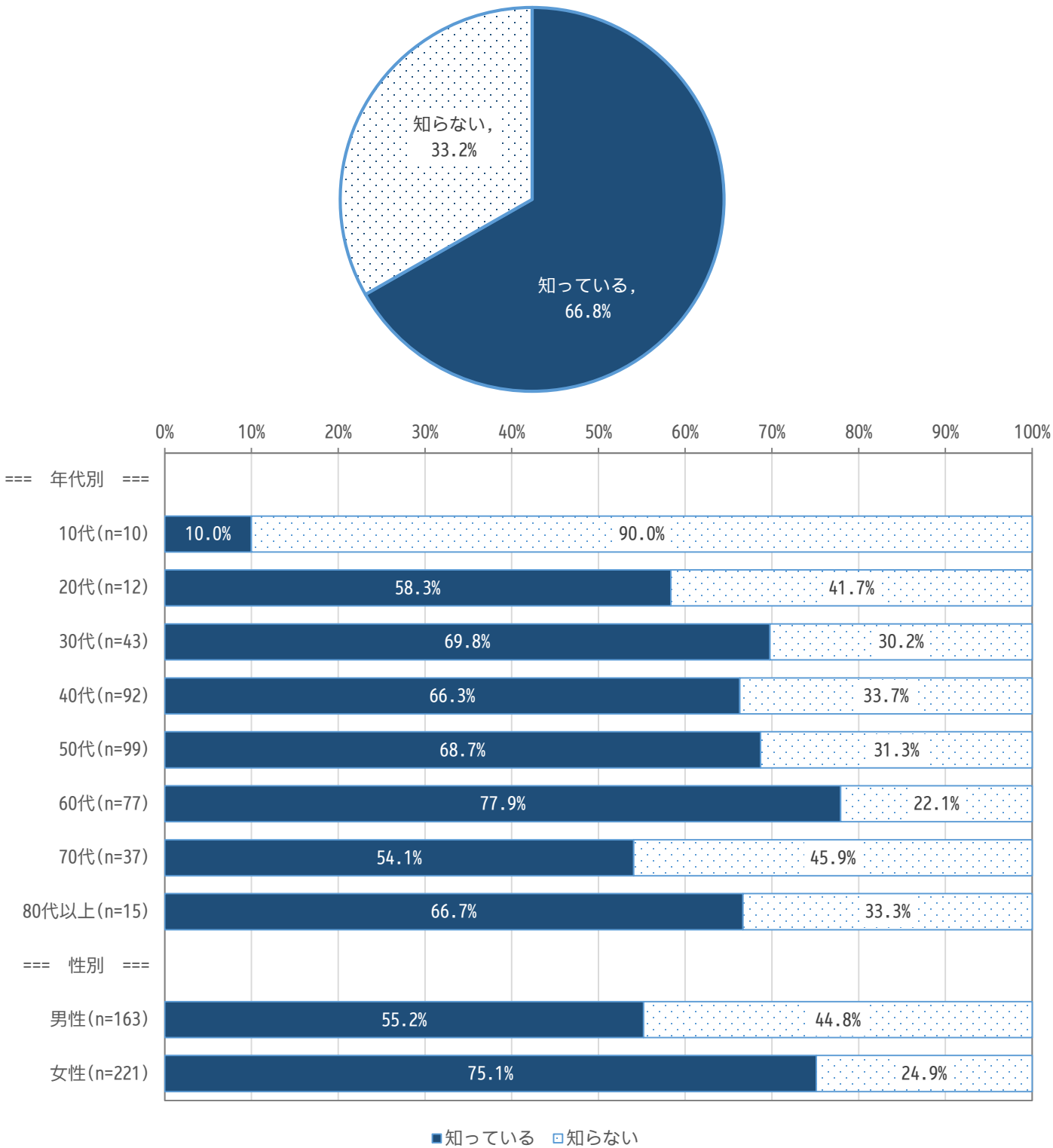
問11 問9で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
本を読んであげたり、昔話をしたのは、月に何回くらいですか？（1つ選択）
(回答者：228人)



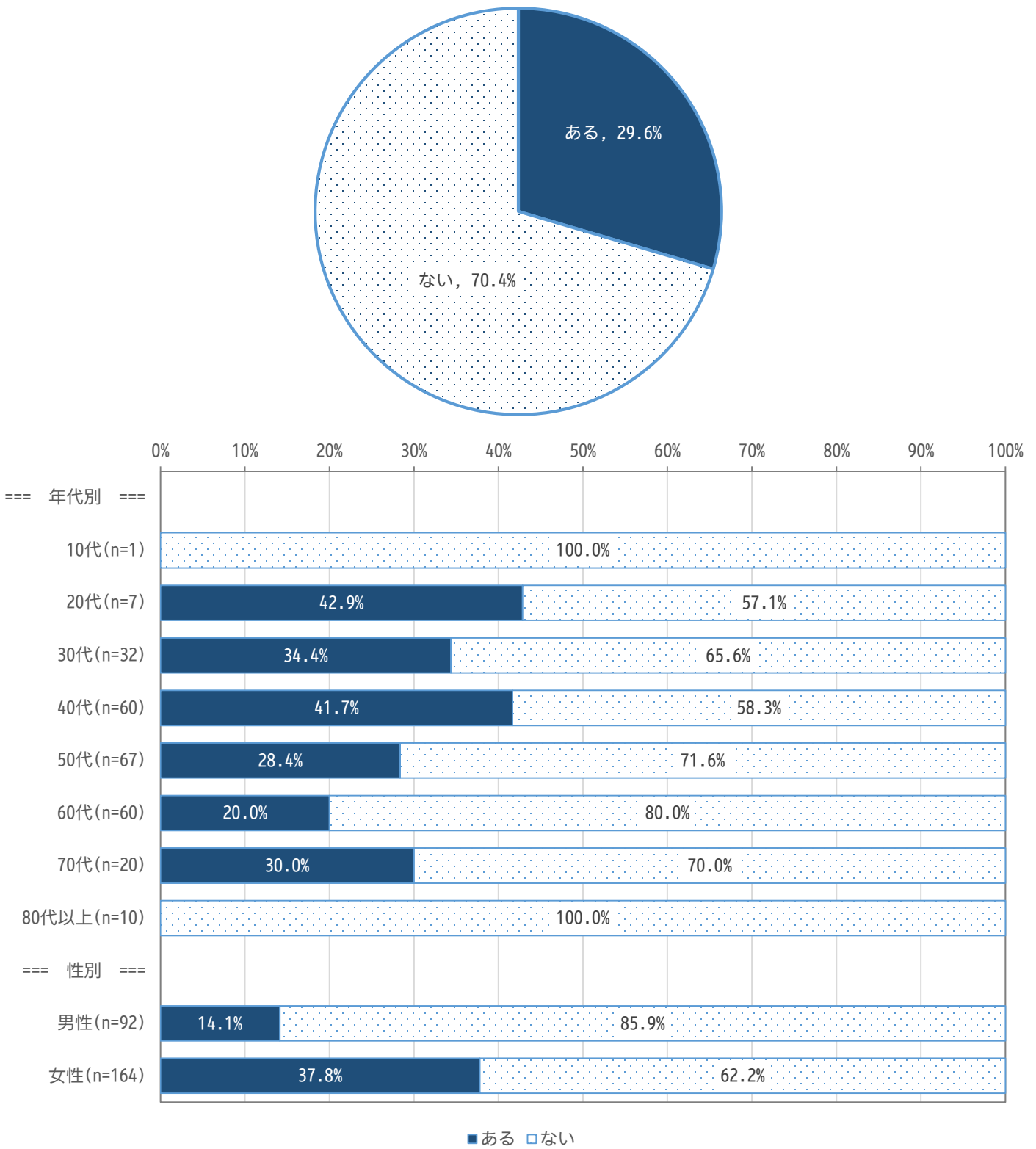
- ①「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方のうち、月に「7回以上」と答えた人は48.7%であり、半数近くを占めている。
- ②年代別では、子育て世代である30代、40代の半数近くが「7回以上」と答えている。性別では、「7回以上」と回答した割合は、女性が男性より31.6ポイント高い。
- ③問8では、自分が子どものときに本を読んでもらったのが「7回以上」だった人は29.6%であるが、問11では自分の子どもに「7回以上」本を読んであげていたのは48.7%であった。

問12 郡山市図書館で定期的に子ども向けの「おはなし会」を開催していることを
知っていますか？（1つ選択）

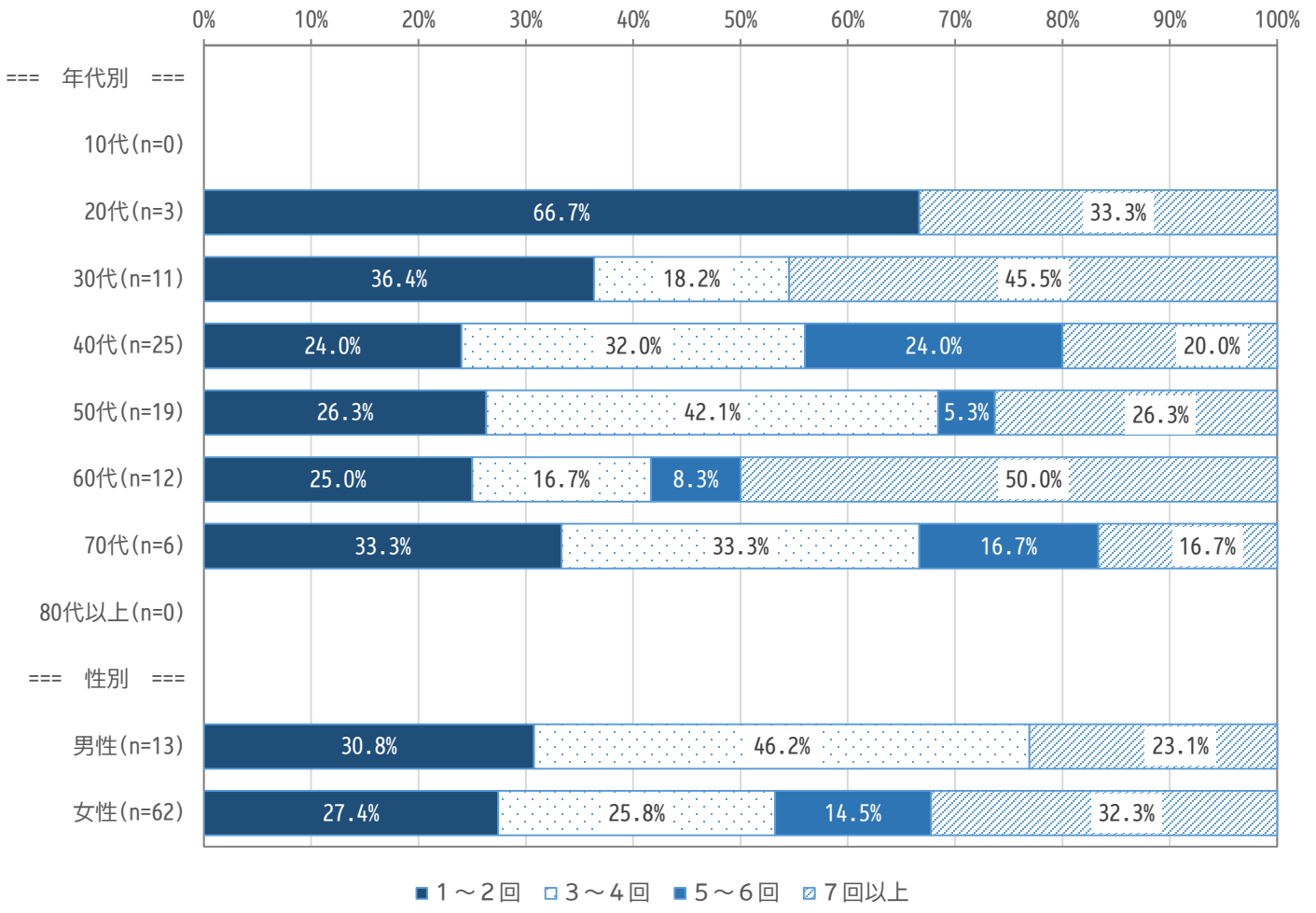
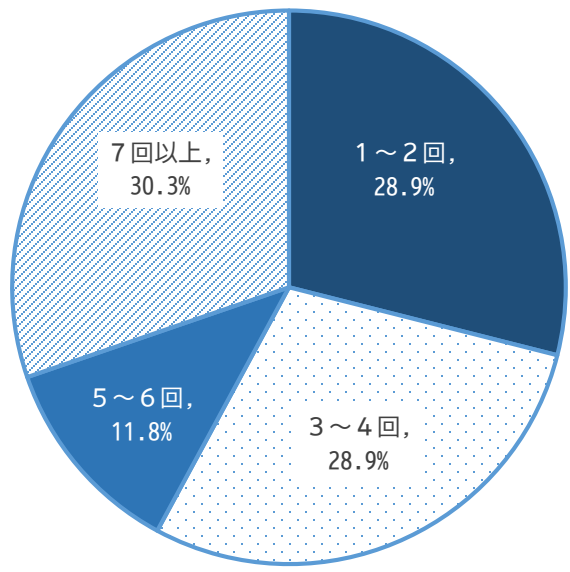
（回答者：385人）



- ① 6割以上の方が「知っている」と回答し、一定の認知度があることが伺える。
- ② 年代別では、30代以上は一定の認知度がある一方、20代が58.3%と他の年代と比べるとやや認知度が低いため、若い世代への周知が必要である。
- ③ 性別では、「知っている」と答えた割合は、女性が男性より19.9ポイント高い。



- ①おはなし会を知っていて、参加したことが「ある」と回答した人はおよそ3割であり、おはなし会が認知されていても参加に至る数は多くない傾向が伺える。（ただし、参加できるような子どもが身近にいない場合もある）
- ②年代別では、参加したことが「ある」と回答した割合は、子育て世代である20代が42.9%と最も高い。
- ③性別では、参加したことが「ある」と答えた割合は、女性が男性より23.7ポイント高い。

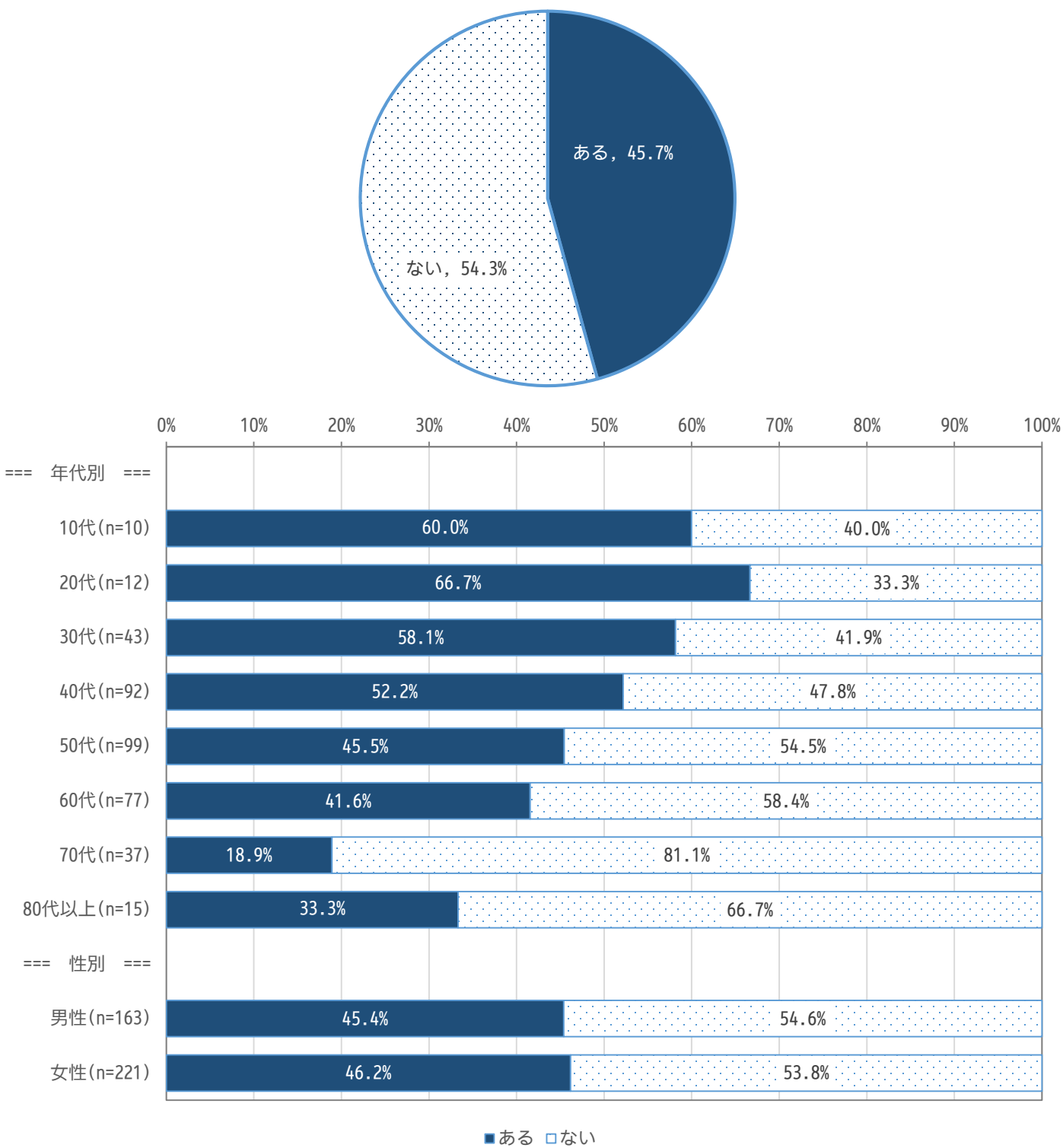


- ①「7回以上」と回答した人が30.3%で最も多く、次いで「1～2回」、「3～4回」がそれぞれ28.9%である。
- ②年代別では、60代で「7回以上」と答えた割合が半数を占める。

第3章 電子書籍の利用について

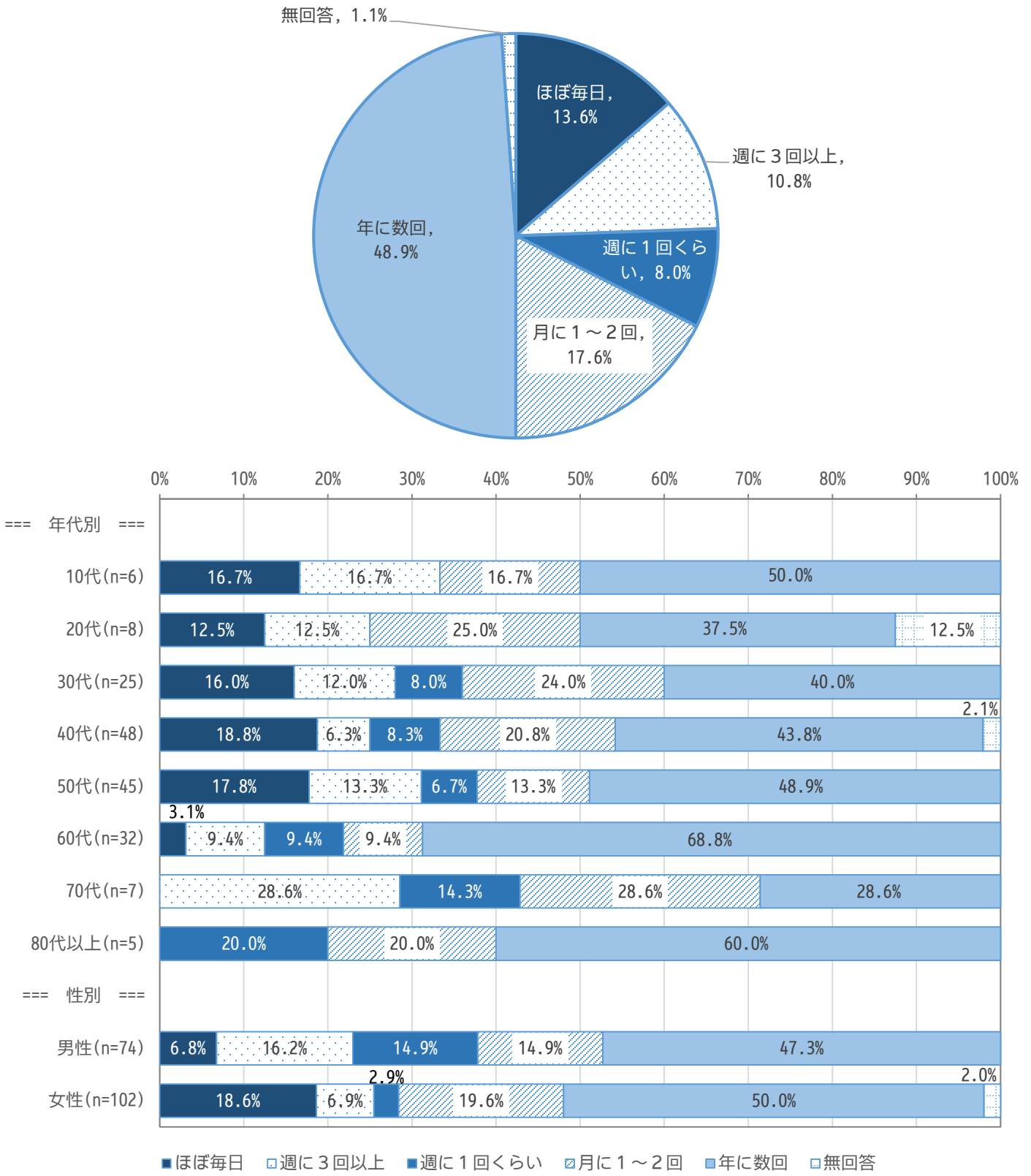
問15 あなたは、電子書籍（※）で読書をしたことがありますか？（1つ選択）
（※）専用の端末や、タブレット、スマートフォン、パソコンなどで読むことのできるデジタルデータ化された書籍。

（回答者：385人）



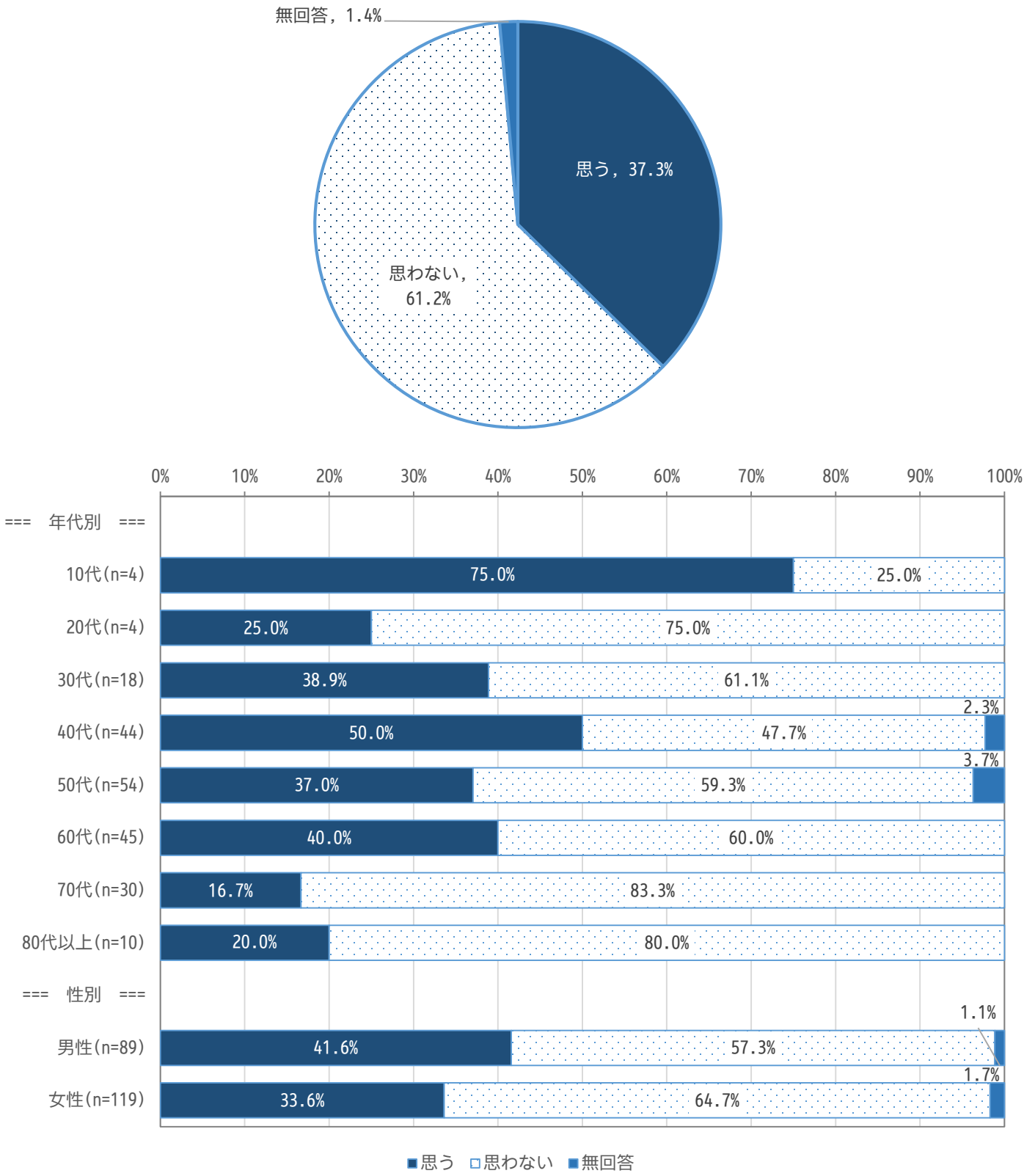
- ①電子書籍を利用したことが「ある」と答えた人は45.7%と半数近くに上った。
- ②年代別では、電子書籍を利用したことが「ある」と答えた人が最も多いのは、20代の66.7%であり、若い年代ほど利用者が多い傾向がある。
- ③性別でみると、男女で大きな差は見られない。

問16 問15で「ある」を選んだ方にお尋ねします。どのくらいの頻度で利用していますか？
(1つ選択) (回答者：176人)



①問16では、電子書籍を利用しない方も含めると385人中57人（14.8%）の方が週に1回以上電子書籍を利用している一方で、問5では、385人中198人（51.4%）の方が週に1回以上紙の書籍を読んでいることから、電子書籍と比べて紙の書籍の方が利用頻度が高い傾向にある。

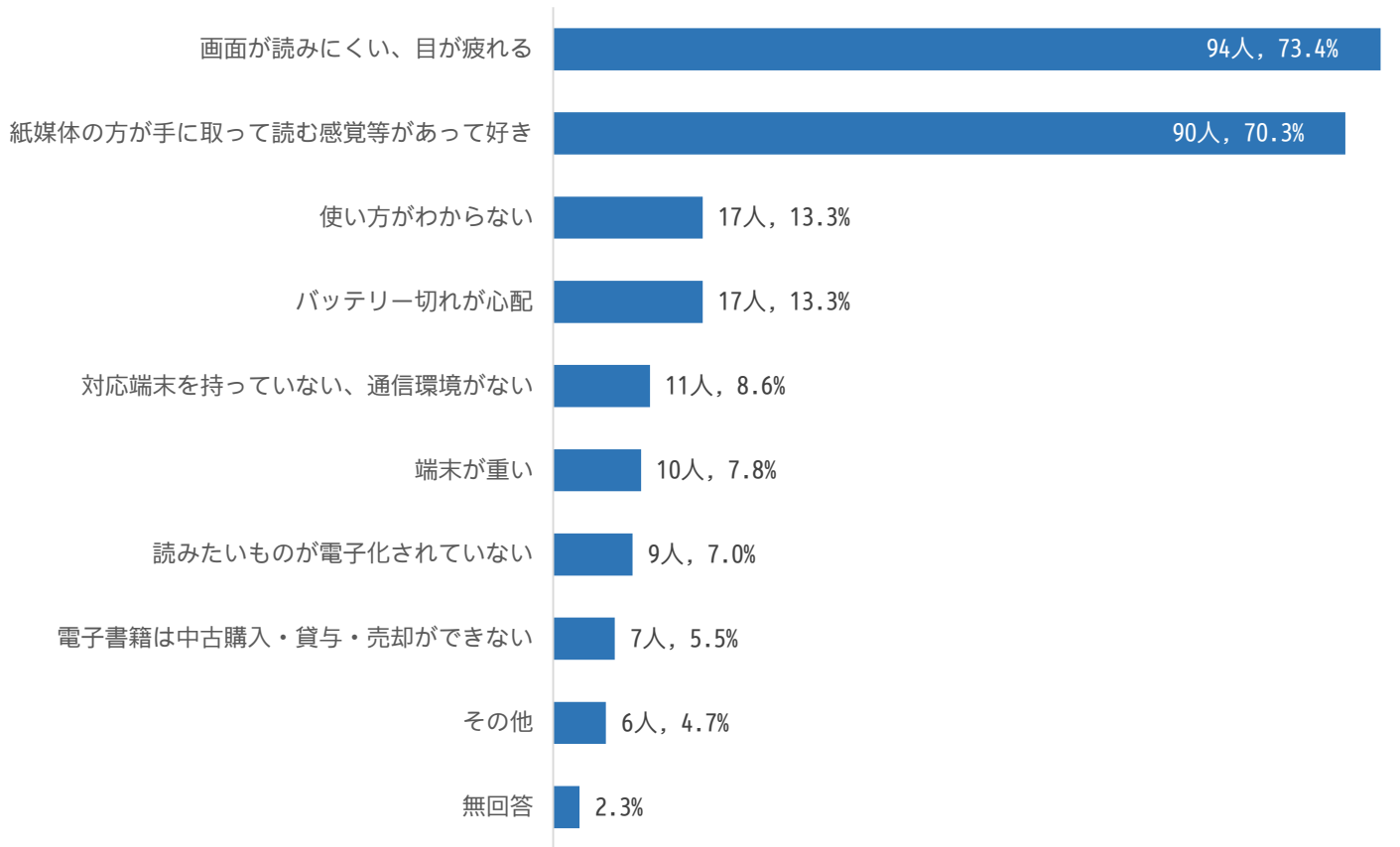
②性別では、月に1回以上読んでいる割合は、男性が女性より4.8ポイント高い。



①問15で「ない」を回答した人のうち、61.2%が電子書籍を利用したいと「思わない」と回答。
②年代別では、使ってみたいと「思う」割合は、10代の75.0%が最も高く、次いで40代の50.0%である。
③性別では、使ってみたいと「思う」割合は、男性が女性より8.0ポイント高い。
④紙の書籍については女性の方が利用意欲が高く、反対に電子書籍は男性の方が利用意欲が高い傾向がある。

※複数回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。
したがって、すべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。

問18 問17で「思わない」を選んだ方にお尋ねします。理由は何ですか。（複数選択可） （回答者：128人）



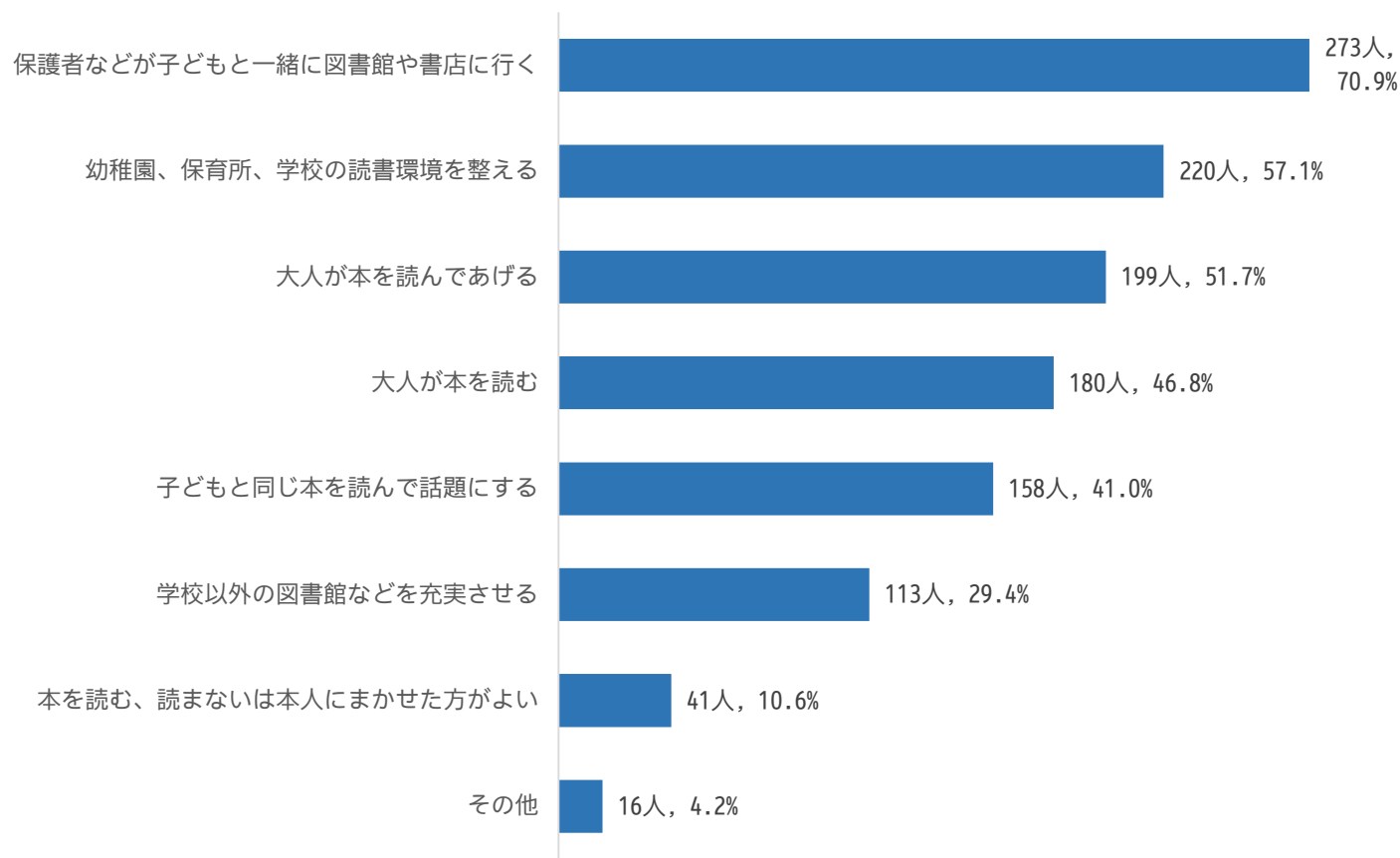
《その他の主な意見》

- ・読書とは実際の活字を読むことで自分の中で反芻できるし、前に返って確認出来なければ意味が無いと思うから。
- ・重要な文章を再度探したり、読みたい部分を即座に探すことは、電子書籍だと時間がかかってしまうことと、項目を探しだすのが面倒だから。
- ・電子書籍を利用したことが無いので、魅力が分からない。

今後、電子書籍を使ってみたいと「思わない」理由としては、「画面が読みにくい、目が疲れる」、「紙媒体の方が手に取って読む感覚等があって好き」の2つの理由がそれぞれ70.0%を超えており、他の回答を大きく引き離していることから、この2つが主な理由であることが伺える。

第4章 子どもの読書活動への支援について

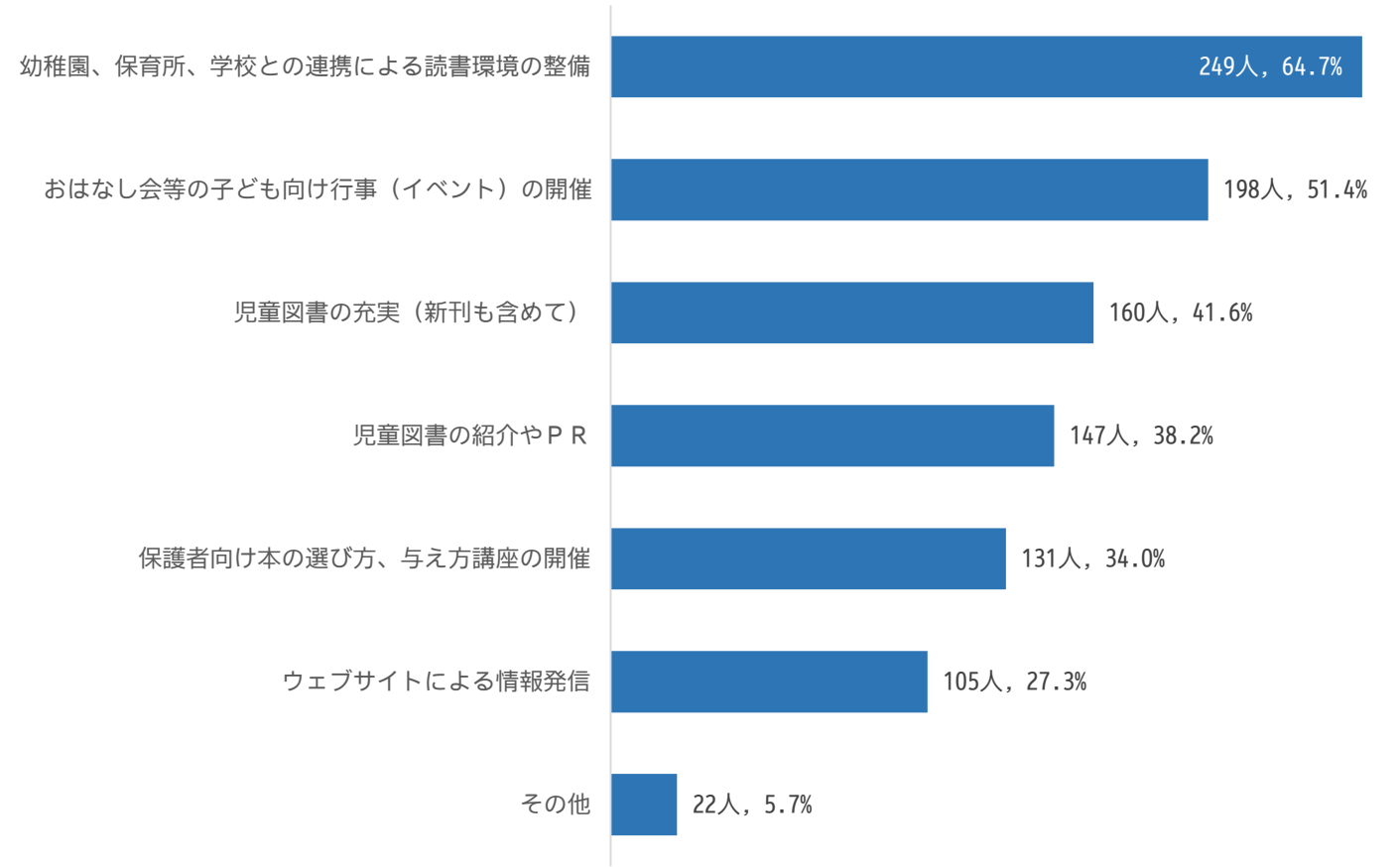
問19 どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか？（複数選択可）（回答者：385人）



《その他の主な意見》

- ・最新の本や人気の本が常にあること。
- ・家の徒歩圏内に図書館があること。
- ・学校で書籍について話題にしたり、教師や生徒が感想を述べ合う。
- ・学校図書館の利用を促す。
- ・大人が本を読む習慣を子どもに見せたり、学校以外の図書館の使い方について学習する機会を作る。
- ・学校や図書館以外の場所に本（読書コーナー）を設置する。
- ・私の家の場合、私がとにかく本好きなのと、子どもたちには「くだらない」などと思わず色々なジャンルの本を図書館を利用して見せてあげました。

70.9%の人が「保護者などが子どもと一緒に図書館や書店に行く」と回答。次いで、「幼稚園、保育所、学校の読書環境を整える」（57.1%）、「大人が本を読んであげる」（51.7%）、「大人が本を読む」（46.8%）、「子どもと同じ本を読んで話題にする」（41.0%）であり、身近にいる大人の果たす役割が大きいことが伺える。

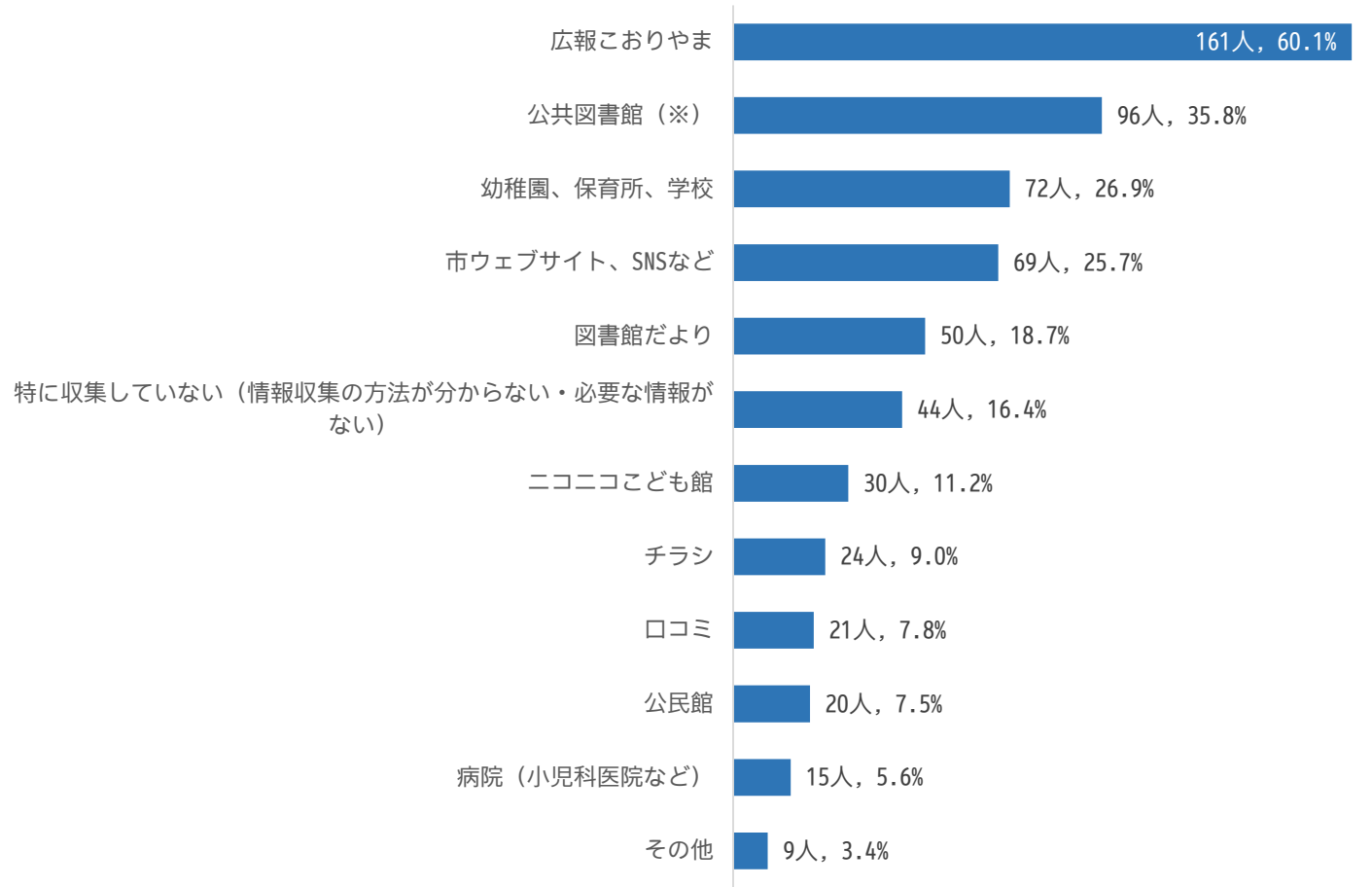


《その他の主な意見》

- ・中央公民館を含む図書館のリニューアル又は新設をしたり、民間図書館・書店や子ども食堂、高齢者施設・当事者団体との協働が必要だと思う。
- ・SNSなどを使ってP Rする。
- ・本を読まなくても、図書館に行きたいと思わせる施設にする。
- ・閉館時間を遅くして、家族で借りに行けるようにしてほしい。
- ・地域の各公民館などすべてに簡易図書室を設置し、どこで借りても返却してもいいようにする。
- ・電子（ウェブサイト上）で借りられる本を充実させる。

子どもの読書活動を推進するためには、「幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備」（64.7%）と回答した人が最も多く、次いで「おはなし会等の子ども向けの行事（イベント）の開催」（51.4%）が多かった。

問21 お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。子どもの読書活動に関する情報（読み聞かせ方法、選書、図書館での行事等の情報）をどこから収集していますか？（複数選択可）（回答者：268人）



※公共図書館…自治体が設置する公立図書館と、法人等が設置する市立図書館の総称

＜その他の主な意見＞

- ・ウェブサイト等でランキング検索をしてから、郡山市図書館のネット予約を利用している。
- ・子ども新聞やネットニュースなどで情報を収集している。
- ・新聞や雑誌の書評を読む。
- ・新古書店、本屋に行って、子どもに自分の好きな本を選ばせる。

子どもの読書活動に関する情報について、「広報こおりやま」（60.1％）から収集している人が最も多く、次いで「公共図書館」（35.8％）、「幼稚園、保育所、学校」（26.9％）であり、紙媒体での収集率が高い。

図書館の施設環境・資料等について

いつも子どもたちと一緒に、図書館にはとてもお世話になっています。無償でさまざまな本に出会うことができ、とてもありがたい存在です。本の紹介があっても、なかなか予約が取れなかったりもするので、本に「次はこの本を借りてみようかな」と思えるようなポップが貼ってあったら借りやすいと思いました。また、今は自作の読書ノートをつけていますが、自分が借りた本や累計数を一覧で見ることができる機能があるといいなと思います。これからも、たくさん利用させていただきたいです。(30代・女性)

ほぼ毎週市の図書館やクローバー図書館に行きますが、いつも限界まで5冊×人数分を借ります。絵本だと1人5冊がすぐ読み終わり、もう少し借りれたらいいなと思います。それと借りてきた本が破損していたりすると、子どもの読む気がなくなってしまうことがあり残念です。児童図書と大人の本のコーナーが完全に分かれています、借りる際は行ったり来たりすることになり、なかなか大人の本を借りれません。もう少し近いといいなと思いました。児童図書の充実、小説などももう少し増えたら嬉しいなと思います。時々特集を組んで置いてあるのはいつも普段読まないものがあるからこそ、そうした本も手に取りやすくなり素敵だなと思います。いつもありがとうございます(30代・女性)

情報媒体が多い時代なので、本を読んだ感想や意見の共有ができる場所があれば、他の媒体にはない読書の良さや楽しさが伝わって、子どもたちの興味や、やる気が生まれると思います。(40代・男性)

インターネットでの予約が便利だけれど、人気の本は借りるまでに日数を要するので本を増やしてほしい。また、平日の開館時間が短くて、仕事後に利用できない。(40代・女性)

図書館の本をもう少し多く借りたいので、1回に10冊まで借りるのを希望します。また、ビックアイ6階の本のコーナーを充実させてください、今は雑誌のみですが、一般図書も置いてほしい、借りることができれば嬉しい。(60代・男性)

図書館の職員の方のおすすめの本にポップをつけて紹介したり、月ごと・年代別等に貸出数の多かった本を紹介する。月ごとに、新聞の記事や、広告で紹介されていた本や雑誌のコーナーを作る。(70代・女性)

今の子どもたちは、読書よりもスマートフォンやタブレットでYouTubeやInstagramなどの動画を見ることの方が、刺激が強く楽しいと感じてしまっているのが現実なのかなと感じていて、本を読む時間が少なくなっているのかなと思います。コンビニやファーストフードのように、ミニ図書館のような場所が近くにあれば身近に感じられて気軽に遊びに行けるのかなと思います。(40代・女性)

郡山市図書館のレパトリーが少ないような気がします。以前、白河の図書館に行った時、施設や本の充実に感動しました。(40代・女性)

書店が少なくなっているので図書館の役割は大きく、重要なものと思います。(60代・男性)

学生の頃はよく読んでましたが、もう読まなくなりました。図書館運営や子どもに向けた事業は十分やっているし、読みたい子どもは読んでいます。どうしても教科書で精いっぱいの子供はいます。読まない子どもに無理矢理読ませるより、読んでいる子どもが離れないようにする事が大事だと思います。(40代・女性)

須賀川市のtetteにいろいろと負けています。郡山市の南半分に、営業している本屋がない状態にしておいて10数年、本好きな人を増やすというのは、難しいです。図書館だけではなく、本屋さんが無いと読書する習慣はつかないと思います。(60代・男性)

車が無いと行けない場所にあるのが困るので、もう少し便利な場所にあればよい。もしくは、昔よくあった図書館車みたいなものが出張してくれるとありがたい。（40代・女性）

我が家では図書館に行くことを習慣化しています。子どもが本を好きな事もあり、次はあれ、次はこれと、毎回借りています。図書館の人は優しく丁寧に対応してくださりととても感謝しております。ママ友に話すと図書館の場所も借り方が分からない、利用方法も分からないとおっしゃっています。また、返しに行くのも面倒だと言ったりしています。知らない人には利用方法を伝えたりしていますが、利用方法がたくさんの人に行き届くといいなと思います。（40代・女性）

子どもの時の読書の大切さは承知していますが、私も親から読み聞かせをしてもらった事が無いため、自分の子どもにどのような本を読み聞かせして良いか分かりませんでした。毎月届く絵本をみんなで読んで、読書の大切さを教えたいと思いますが、回数が足りていたのか分かりません。図書館の維持管理費がどの程度要しているか不明ですが、利用者数により集約してもいいと思います。八山田子ども公園にも本がありましたが、子供向けの図書がたくさんあると、本に接する回数も増えると思いました。（40代・男性）

郡山市には、充実した図書館があり恵まれていると思います。休日等は、多くの市民等でにぎわっていると思います。しかし、子ども（おおむね小学生）はあまり見かけないような気がします。まずは親子で散歩がてらでもいいので、立ち寄ってどのような本があるのかを知ってもらう必要があると思います。市内では書店が少なくなっているのので、読書をすることのメリットをもっと知ってもらう必要があると思います。（60代・男性）

小さな子どもは大人が図書館に連れて行かないといけませんが、デパート・スーパー等の大型施設の片隅に読書コーナーを設けておけば、本を気軽に手に取ることができると思います。買い物している間だけでも子どもが本に触れる時間が作れて便利だと思えます。法的に問題ないのであれば、読み聞かせや紙芝居をしている動画を撮影して、郡山市のウェブサイトアップしておくのはどうでしょうか。子育てで忙しい親御さんが図書館に出向くことなく、いつでも子供に本への興味を抱かせることができるかもしれません。子育てしやすい街になるのではないのでしょうか。（50代・女性）

地域の図書館ごとに本の特色があれば、スタンプラリー的に行ってみたい（40代・女性）

図書館が開いてる時間が短いので、子どもが小学校高学年になってクラブ活動もあり、自然と行けなくなりました。近所にあるクローバー図書館では毎週読み聞かせをしていて、読み聞かせに参加してスタンプを集めて貯まったら菓をもらえたため、娘が集めていました。住んでる近所に小さな図書館があると気になってよく行きました。もちろん、子どもが気になるイベントがある事は大切だと思います。紙媒体はやはり、返却期限があるので返しに行くのが大変でした。（50代・女性）

小学生の子どもがいますが、本を読みたいと図書館に行っても何を選んでいいかわからなくて困っている時があります。おすすめの本のコーナーや、本の選び方・探し方を教えてもらえると、読書に対するハードルが下がり進んで自分から本を選び読むようになるのかなと思いました。（30代・女性）

図書館のイベントについて

今の親は忙しいと思う。共働きしないと生活できない家庭も多い中、子どもを図書館に連れて行く時間さえ惜しいのではないのでしょうか。幼稚園、保育園に貸し出しに行ったり、読み聞かせの出張サービスをぜひやってほしいと思います。子どもの時から、本に対して親しむ時間を平等に作ってあげて、いろいろな可能性があることを教えてあげてほしい。（50代・女性）

郡山市の図書館はラインナップが豊富で、利用も簡単なのでいつもお世話になっています。子ども用の本の種類も多くて満足しています。小学校になってからは学校の図書室では人気があって借りにくい本を図書館で借りたり、とても便利です。おはなし会は、参加してみるととても楽しかったのですが、元気すぎてうろうろ歩くタイプの子どもだったので参加するまでのハードルが高かったです。座って聞く従来のスタイルの他に、ちょっと歩いたり騒いでも大丈夫なおはなし会もたまにはあるといいなと思います。（40代・女性）

訪問して、幼稚園や学校などでの読み聞かせの活動を実施してほしい。（60代・女性）

本を借りたらスタンプを押して、いくつか集めたら、葉やシールみたいな物が貰えるとか、達成感を得られるような物があると良いと思います。（50代・女性）

各図書館ごとに各図書の合評会を行い、秀作については年に1、2回市の合同発表会を行う。（60代・男性）

学校等との連携について

郡山市には、福祉や子どもに向けた教育に力を入れている女子大・医療系大学、環境や建築系の大学があるので、そのような学びから子どもも含め誰にでも楽しく優しい場所となるヒントは多々得られるとも思うのですが、残念ながらこのような組織との協働は行われていないように思います。郡山市は商業都市なのでそれぞれの利益や利害のみ追求する姿勢が目立つのは仕方ないのですが、郡山市や図書館が多様な知見を取り入れて進めれば、子どもの読書への関心についても高まるのではないのでしょうか。（50代・男性）

子どもは読み聞かせによって本に対して興味が湧き楽しさに吸い込まれていくと思います。小学校で読書を推進する事も大事だと思います。（60代・女性）

大人の果たす役割について

大人が本を読んでいたら、子どもも自然に本を読むと感じます。エスパルに分館があったらいいなと思います。（40代・女性）

読み聞かせやイベント参加など、そうした時間を子どもに与えたいと思うが、仕事や家事でなかなか時間がとれないことが多い。例えば、子どもが読み聞かせなどに参加している間に、親も別の何かを学べる時間になれば、親も子どもも共に学べるのではないかと思います。また、現在の若者は、想像力が少ないように感じます。読書を通して、相手の気持ちや、こうやったらどうなるのか、といった未来を想像できるよう考えられる力を持つためにも読書は大切だと思います。（50代・女性）

子どもの読書習慣は、親からの教育が一番必要だと考えています。親が子どもに本の読み聞かせをしてあげなければ、子どもは本を手にとろうとはしなくなります。読み聞かせなどをしてあげなければ、字が読めず、書けない。場面の状況が理解できず、相手の気持ちを理解できないなど、大きく影響してきます。いくら周りがさまざまな取り組みをしても、やはり大切なのは家庭での取り組みではないのでしょうか。家庭での読書活動の必要性や、子どもへ5分間の読み聞かせを習慣づけるなどの取り組みが一番必要だと考えています。（40代・女性）

保護者の方々も忙しいでしょうが、小さい内から読み聞かせしていくことが、本との出会いだと思う。私自身、小さい時に親に本を読んでもらったことがないため、そういう本との出会いがなかった。今になり3歳の孫にはできる限り絵本を読んであげたいと思っている。（70代・女性）

幼少期の読書経験が大人になって与える影響について

孫を見ても、この頃の子供はゲームや習い事やらで落ち着いて本を読む環境にない気がします。かと言って無理強いすれば返って嫌いになるのでしょうか。私の長女は本が好きで良く読んでいましたが、小さい頃頻りに図書館に通った覚えがあります。図書館に通うだけでも良いのかな、と思います。（60代・女性）

自分は子どもの頃、読書がなぜ楽しいのか分からなかった。興味がある本と出会えば、子どもの頃からもっと本を読んでいたと思う。今はインターネット社会で、タブレットを見る子どもが多いので、本を序盤だけ開いて動画で見せて興味を向けさせ、序盤後は図書館で貸し出しできることをアピールしてみてもどうでしょうか。（40代・女性）

上の子は、いっぱい本を読み聞かせしていたからか、本が大好きで、本を借りたり買ったりして本を読んでいます。下の子は、そんなに本を読んであげられなかったので、本に興味がなく、読解力もないため、塾で読解力を身につけています。子どもの頃の本の読み聞かせで、本の好き嫌いが別れてくるのだと思います。

（40代・女性）

子どもの読書活動は大変重要なことだと思います。未来の大切な子ども達の成長を考えて、どんな本を読んでもいいか、また、年代別等、親御さんが参考に出来るものがあつたらいいかな、と思います。（70代・女性）

自分が子どもだった時のことを思い返すと、大人と違って子どもが読書をするしないは、「読みたい内容の本があるかないか」のみだと思います。だからやっぱり大人が目の前で読んで興味をそそり、続きが気になるなど自主的に読みたくなる、というコース以外に方法は無いでしょう。大人を啓蒙する必要があります。

（50代・女性）

子どもの読書は家庭環境によるものが多いと思います。自分も含め、スマートフォンを見る時間があれば（電子書籍以外で）大人も読書に充てる時間を増やしたいです。（30代・女性）

私は図書館によく行って、自分と子どもの本を選んでいたし、便りにある時間に合わせて図書館に行って、読み聞かせや紙芝居などを楽しんでいました。本は面白い。私はそんな世代だから、今の世代とは違うのでアドバイスが思いつかない。でも、今も司書さんたちの可愛いポスターやポップなど目について偉いと思います。（50代・女性）

電子書籍について

電子書籍では味わえない良さを伝えた方がいいと思います。また、郡山市内の書店と図書館で連携を強化して、書店のおすすめの絵本のレビューや書店に行く流れも組み込めると面白いと思います。（30代・男性）

ウェブ図書館で、朗読など音声のものがあると、読み聞かせしてあげられない代用になったり、YouTubeの代わりに使えると思いました。（40代・女性）